

文部科学省「履修証明プログラム」
文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定講座
厚生労働省「専門実践教育訓練給付金制度」指定講座



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学グリーンケア研究所

2020年度
グリーンケア人材養成講座
(大阪) / 2年制
グリーンケア人材養成課程

出願要項

2020年度 グリーフケア人材養成課程(大阪)出願について

1. 概要

募集定員：36名

開講場所：上智大学大阪サテライトキャンパス

開講期間：2020年4月～2022年3月（2年間）

春学期（4月～7月） 秋学期（9月下旬～1月）

水曜日

春・秋学期 各15週 18:30～20:00

土曜日（隔週、原則として、第2・第4土曜日）

春・秋学期 各8週 9:30～16:40

※上記の水曜日と土曜日以外に、1年間に数回、1日間の現場実習を行います。

※土曜日に個別指導を受講する場合は、18:20が終了時刻となります。

開講式：2020年4月11日（土） ※開講式終了後、第1回目の土曜日の授業を実施します。

2. 出願資格

次の(1)および(2)のすべての条件を満たす方。

(1) 専門的な知識・援助技術をもって、グリーフケアの実践に携わることを目的とし、次のすべてに該当する方

- ① 心身ともに健康である方
- ② 多様な思想・宗教・伝統・文化・価値観があることを謙虚に受け入れて、自己の成長を目指している方
- ③ 教員や他の受講生とのコミュニケーションを通して、相互研鑽を図ることができる方
- ④ 学習に支障をきたすような自分自身の強いケアニーズを抱えていない方

(2) 次のいずれかの学歴又は職歴を有する方

- ① 大学（短期大学を含む）を卒業、又は卒業見込みの方
- ② 国内外において学校教育における12年の課程を修了し、さらに専門課程を置く専修学校において2年以上の課程を修了、又は修了見込みの方
- ③ 上記①及び②と同等以上の学力があると認められた方
- ④ 社会福祉士、介護福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、当該資格にかかる実務経験が10年以上ある方

なお、以下のいずれかに該当する方は、出願前に必ずご相談ください。

- ① 3年以内に家族との死別を経験している方
- ② 精神科または心療内科に受療中の方

3. 出願期間

- ① 出願期間：2019年11月11日（月）～2020年1月24日（金）【当日消印有効】
- ② 出願は、出願期間内に受験料を銀行振込し、出願書類を郵送することにより完了します。
- ③ 定型外の封筒をご用意いただき、表面に所定の「上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成課程」宛の送付状を貼り、必ず簡易書留にて郵送ください。
- ④ 出願を受け付けましたら、2020年2月5日（水）までに受験票を発送します。

4. 受験料

受験料：30,000円

指定の口座（別紙参照）に銀行振込のうえ、振込領収書の写しを台帳に貼付のうえ、出願書類と一緒に送付してください。

5. 出願書類

- ① 願書 [本学所定用紙] (写真貼付)
- ② エントリーシート [本学所定用紙] (WEBからダウンロードされる場合は、全て片面で出力して下さい)
- ③ 受験料振込金領収書等写台帳 [本学所定用紙]
- ④ 小論文

※ 出願書類に記載する氏名および生年月日は、戸籍簿（外国人は住民票）と一致しているか、ご確認ください。

※ 出願書類の記載事項に虚偽があることが判明した場合は、合格あるいは入学を取り消すことがあります。

6. 選考日程

出願期間	面接試験	合格発表	合格者手続期間
2019年11月11日(月)～ 2020年1月24日(金) (当日消印有効)	2020年2月11日(火)	2020年2月21日(金) (郵送にて通知)	2020年2月21日(金)～ 2020年3月6日(金)

7. 選考方法および合格発表

- ① 選考は、書類選考および面接選考にて行います。
- ② 出願者には、必ず面接選考を受けていただきます。面接時間は、待機時間も含めて概ね1時間程度です。集合時間は受験票に記載します。
- ③ 出願者全員に郵送にて結果を通知します。1週間経っても、結果が不着の方はお問い合わせ下さい。合格者には手続書類を同封します。

8. 入学金・受講料

入学金 20,000円(入学の際のみ)

受講料 1年目 240,000円(半期ずつ、分割で納入)

2年目 240,000円(半期ずつ、分割で納入)

※ 別途、実習費(10,000円)と責任賠償保険加入料(150円)を納入いただきます。

※ 自動車事故の被害者、被害者のご家族・ご遺族の方には、一般社団法人日本損害保険協会の自賠責拠出事業助成金による奨学金が受給できる予定です。詳細についてはお問い合わせください。

※ 厚生労働省「専門実践教育訓練給付金制度」の適用を受けた方は、入学金及び受講料の一部が給付金として支給されます。

9. 受講手続

合格者手続期間に、入学金および受講料を納入するとともに、入学手続書類を郵送してください。

なお、入学手続が完了した方が受講を辞退する場合は、2020年3月31日(火)までに、書面にて申し出てください。

入学金を除いた受講料を返還します。

文部科学省「履修証明プログラム」

グリーンケア人材養成講座は、2017年度より学校教育法その他関連法規に基づく「履修証明プログラム」です。「履修証明プログラム」とは、大学等における社会人等に対する多様なニーズに応じた体系的な教育、学習機会の提供を促進することを目的とするものです。

グリーンケア人材養成講座に入学した受講生が、所定の単位を修得して修了する際、学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を示した「履修証明書」を交付します。

文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」

グリーンケア人材養成講座は、2017年度より学校教育法その他関連法規に基づく「職業実践力育成プログラム(BP)」として認定されました。「職業実践力育成プログラム(BP)」とは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、主に社会人を対象とした実践的・専門的なプログラムで、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的としています。

厚生労働省「専門実践教育訓練給付金制度」

グリーンケア人材養成講座は、2017年度より厚生労働省が認定する「専門実践教育訓練給付金制度」の指定講座となりました。

専門実践教育訓練給付金制度とは、働く方の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成を支援するため、教育訓練受講に支払った費用の一部を支給する制度です。

本給付金制度の申請は、入学前の事前手続が必要ですので、希望される方は、早めの準備をお願いします。支給対象者、支給額及び申請手続等、詳細については、居住地のハローワークにお問い合わせいただくか、ハローワークインターネットサービスをご覧ください。

URL : https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html

グリーフケア人材養成講座が目指すもの

【養成する人材像】

上智大学の教育精神、“Men and Women for Others, with Others - 他者のために、他者とともに生きる者”に基づき、死生学を基盤とし、さまざまな喪失によるグリーフ（悲嘆）を抱える個人や共同体に対して、スピリチュアルケアを提供できる人材の養成を目指します。

グリーフを抱える個人や共同体が持っている死生観やスピリチュアリティの多様性を前提として、スピリチュアルな課題（スピリチュアルペイン）に直面している悲嘆者に対し、ケア対象者・ケア提供者が共に各自の死生観・スピリチュアリティを十全に生き共存できるケア関係の構築を目指し、深い臨床理解とダイナミックなケア実践ができる人材を養成します。

具体的には、医療、保健、社会福祉、介護、教育、宗教活動、その他、臨床の現場での対人援助の専門職としての活動において、グリーフケア、スピリチュアルケアを提供できる人材、あるいは、遺族会・患者会等のサポートグループのファシリテーション、ケア提供者のピアケアのリーダーシップを取れる人材を養成します。また、ボランティアとして、医療・福祉等の現場、事件・事故あるいは災害等の現場、その他さまざまな現場において、グリーフ（悲嘆）を抱えた方々に寄り添い、耳を傾けることで、ケアを行うことができる人材を養成します。

【グリーフケア人材養成課程の3つのポリシー】

「臨床傾聴士」の資格認定に求められる基準（ディプロマ・ポリシー）

- ① 課程修了に必要な単位を取得していること。
- ② 身体的・社会的・心理精神的な健康と有機的関連を持つスピリチュアルな健康について、知的・情緒的・実践的に理解していること。
- ③ 自身の中で働き、また将来を導くスピリチュアリティの力動とその背景を、自分自身の課題として理解し、それに継続して取り組む準備ができていること。
- ④ 宗教並びにスピリチュアリティの公共的役割について理解していること。
- ⑤ 現代社会のさまざまな宗教・思想・伝統について共感的かつ批判的に理解していること。
- ⑥ 自らのスピリチュアリティをケアの素材として提供しつつ、ケア対象者のスピリチュアリティの涵養を目指す基本的な活動をすることができること。
- ⑦ 上記①から⑥までの基準を満たしているかどうかを判定する総合審査に合格すること。

グリーフケア人材養成課程の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 講義において、グリーフケア、スピリチュアルケアに関する本質的な理解を得るとともに、演習・グループワークを通して実践的に学ぶ。
- ② グリーフケア、スピリチュアルケアに関する知識・技能を修得するとともに、ケア者に必要とされる意識態度、またグリーフケア、スピリチュアルケアにとって重要となる多様な価値観、宗教観・死生観を学ぶ。
- ③ スピリチュアルケア提供者を目指す受講者自身が、教育的に構成された場で互いにスピリチュアルケアを受けることを通して、ケアを総合的・実践的に学ぶ。
- ④ 常に、受講者・指導者・研究所職員また援助対象者を含むすべての関係者が互いに尊厳を尊重し、各自のスピリチュアリティの涵養を目指す。

グリーフケア人材養成課程の受講生の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 宗教者・対人援助職従事者もしくはそれらに準ずる立場に必要とされる、基本的なケア実践力またはその資質を持っていること。
- ② スピリチュアルケアに固有な人間観とそれに基づくケア実践力を身につけることを目指していること。
- ③ 講義および演習またグループワークを含む授業形態での学習において受講生相互の成長を目指す意志があること。
- ④ 学習に支障をきたすような強いケアニーズを抱えていないこと。

グリーフケア人材養成講座の課程

グリーフケア人材養成課程（2年制）（本出願要項の課程）

グリーフケア人材養成課程（2年制）は、次のような人材の養成を行う課程です。

- ① 医療、保健、社会福祉、介護、教育、宗教活動、その他、臨床の現場で対人援助の専門職としての活動において、グリーフケア、スピリチュアルケアを提供できる人材を養成します。
- ② 遺族会・患者会等のサポートグループのファシリテーション、またケア提供者のピアケアのリーダーシップを取れる人材を養成します。
- ③ ボランティアとして、医療・福祉等の現場、事件・事故あるいは災害等の現場、その他さまざまな現場において、グリーフ（悲嘆）を抱えた方々に寄り添い、耳を傾けることで、ケアを行うことができる人材を養成します。

【時間割】（予定）

学年	曜日	時間	春学期		秋学期	
			科目名	単位数	科目名	単位数
1年次	水曜日	18:30～20:00	グリーフケア原論	2	キリスト教人間学	2
	土曜日	9:30～11:00	宗教学	2	スピリチュアルケアと芸術	2
		11:10～12:40				
		13:30～15:00	基礎演習	2	グリーフケア援助演習Ⅰ	2
		15:10～16:40				
		16:50～18:20				
不定期	－	グリーフケア臨床訪問実習Ⅰ			1	
2年次	水曜日	18:30～20:00	グリーフケア援助論	2	スピリチュアルケア原論	2
	土曜日	9:30～11:00	グリーフケア援助演習Ⅱ	2	総合演習	2
		11:10～12:40				
		13:30～15:00	臨床倫理	2	死生学	2
		15:10～16:40				
		16:50～18:20				
不定期	－	グリーフケア臨床訪問実習Ⅱ			1	
合計修得単位数						30

【科目の紹介】

「グリーフケア原論」 グリーフケア人材養成講座での学びの入門科目であり、グリーフケアとは何かについて全体像を学びます。人間科学的な援助とは異なり、思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に注目しつつ行われるグリーフケアの理論的理解を深めます。

「宗教学」 原始から現在に至るまでのさまざまな諸宗教の思想と歴史を学び、ケア対象者・提供者の背景にある思想・宗教・伝統・文化について理解を深めます。

「キリスト教人間学」 上智大学の教育理念に関わる科目です。特にこの科目では、キリスト教のスピリチュアリティと、その様々な展開と歴史社会とのかかわりについて理解を深めます。

「スピリチュアルケアと芸術」 日本のスピリチュアルケアにおいて最も新しい領域です。芸術的感性とスピリチュアリティの関わりについて学び、音楽・美術その他の芸術を通してケアについての理解を深めます。

「グリーフケア援助論」 さまざまな臨床現場でのケア実践者を招きます。グリーフケアの広がりを実際に知る機会です。医療現場に限らず、福祉、教育、産業の現場、また災害、事故・事件、自死に関わるケア、さらには公認されない悲嘆についても学びます。

「臨床倫理」 ケアの現場で直面する倫理的課題について学びます。倫理は規則ではありません。唯一の正解を求め得ないパラドキカルな状況での課題への取り組みの方法、また実践における倫理の実践について学びます。

「スピリチュアルケア原論」 グリーフケアが「悲嘆」という事態に注目しケアする学問的実践的領域であるのに対し、スピリチュアルケアは、すべての人に本来備わっているスピリチュアリティとその働きに注目します。最終学期の科目として、これまでの学びを異なる観点から再統合する機会を提供します。

「死生学」 さまざまな死生観を学ぶとともに、効率や実績を重視する現代社会の支配的価値観では捉えきれない諸問題を死生学的課題と理解し、より人間の本質に接近した立場から取り組みます。

【基礎演習】 演習とグループワークを通して、ケア提供者自身の自己理解を深めます。

【グリーンケア援助演習Ⅰ】 および【グリーンケア援助演習Ⅱ】 演習とグループワークを通して、グリーンケア・スピリチュアルケアの援助技術について実践的に学びます。特に「スピリチュアルケア提供者を目指す受講者自身が、教育的に構成された場で互いにスピリチュアルケアを受けることを通して、ケアを総合的・実践的に学ぶ」という教育を実現します。

【総合演習】 演習とグループワークを通して、ケアの提供者として必要とされる能力技能を仕上げます。
なお、基礎演習、グリーンケア援助演習Ⅰ、グリーンケア援助演習Ⅱおよび総合演習では、一般的な演習やグループワークだけでなく、瞑想やボディーワークなどを取り入れて、ケア提供者のスピリチュアリティを涵養する機会を設けます。

【個別指導Ⅰ】、【個別指導Ⅱ】、【個別指導Ⅲ】 および【個別指導Ⅳ】 教員との個人面談をとおして、受講生個々人の課題の明確化に取り組みます。

【グリーンケア臨床訪問実習Ⅰ】 および【グリーンケア臨床訪問実習Ⅱ】 受講生と実習先のスケジュールを調整し、1年間に数回、少人数のグループに分かれて遺族会や患者会等を訪問し、実際にグリーンケアの現場を体験します。

資格認定課程（1年制）

資格認定課程（1年制）は、グリーンケア人材養成課程（2年制）の修了者を対象とした課程です。

この課程は、グリーンケア、スピリチュアルケアの専門職を養成するための課程であり、本課程の所定の単位を修得し、総合審査に合格した方は、日本スピリチュアルケア学会が認定する「スピリチュアルケア師（認定）」審査受験資格を得ることができます。

募集定員：12名

開講期間：毎年度 4月～翌年3月（1年間） 春学期（4月～7月） 秋学期（9月下旬～1月）

水曜日 春・秋学期 各15週 土曜日（隔週、原則として第2・第4土曜日）春・秋学期 各8週

※上記の水曜日と土曜日以外に、年に2回、1週間の集中実習を行います。また、1年間を通しての通年実習（合計100時間）を行います。

【時間割】（予定）

曜日	時間	春学期		秋学期	
		科目名	単位数	科目名	単位数
水曜日	18:30～20:00	精神医学・精神保健	2	先端医療・緩和医療	2
土曜日	9:30～11:00	実習スーパービジョンⅠ	2	実習スーパービジョンⅡ	2
	11:10～12:40				
	13:30～15:00	文献講読Ⅰ	1	文献講読Ⅱ	1
	15:10～16:40	ソーシャルワークとグリーンケア	1	臨床心理とグリーンケア	1
	16:50～18:20	個別指導Ⅴ	1	個別指導Ⅵ	1
集中	—	集中臨床実習・演習Ⅰ	2	集中臨床実習・演習Ⅱ	2
通年	—	通年実習			—
合計修得単位数					18

専門課程（1年制） 隔年開講

専門課程（1年制）は、日本スピリチュアルケア学会が認定する「スピリチュアルケア師（認定）」の有資格者で、同学会が認定する「スピリチュアルケア師（専門）」の資格取得を目指す方のための課程です。

資格認定課程（1年制）を修了し、「スピリチュアルケア師（認定）」の資格を取得した方、また、グリーンケア人材養成講座以外の他のスピリチュアルケア師養成プログラムを受講して「スピリチュアルケア師（認定）」の資格を取得した方を対象とします。次回は2020年度に開講します。

募集定員：7名

開講期間：隔年 4月～翌年3月（1年間） 学期（4月～7月） 秋学期（9月下旬～1月）

土曜日（隔週、原則として、第2・第4土曜日）春・秋学期 各8週

※隔週土曜日以外に、年に2回、1週間の集中実習を行います。また、1年間を通しての通年実習（合計80時間）を行います。

【時間割】 (予定)

曜日	時間	春学期		秋学期	
		科目名	単位数	科目名	単位数
土曜日	9:30 ~ 11:00	実習スーパービジョンⅢ	2	実習スーパービジョンⅣ	2
	11:10 ~ 12:40				
	13:30 ~ 15:00	論文指導Ⅰ	2	論文指導Ⅱ	2
	15:10 ~ 16:40				
	16:50 ~ 18:20				
集中	—	集中臨床実習・演習Ⅲ	2	集中臨床実習・演習Ⅳ	2
通年	—	通年実習 80時間			—
	—	修了論文			2
合計修得単位数					16

グリーンケア人材養成講座 修了生の声

(2019年10月現在)

■ 山下 文夫 (2010年度ボランティア養成コース修了)

はすの会代表

私は、高木慶子先生が主幹される「遺族会」でファシリテーターのサブをしながら、「ボランティア養成コース」を受講した1期生です。座学ではこの分野の日本を代表する方々の講義が聴けたことは、本当に貴重な体験でした。修了した2012年、同期の4人で東大阪と神戸に遺族会「はすの会」を立ち上げました。座学の学は勿論大事ですが、現場でご遺族に接する体験を通してしか学べないこともあります。その中で感じていることは、ご遺族の喪失悲嘆の個性・多様性に対応できるファシリテーターとしての資質と実践力の維持・向上の必要性です。現在、遺族会は伴侶を亡くされた方々、子供さんを亡くされた親御さん、そして自死遺族の方々は勿論、高齢の母親を亡くした方も潜在して増えてきそうな状況です。ご遺族は必ず、スピリチュアルペインについて話されます。私たちは、「場の持つ力と遺族の方々の潜在力」を信じて遺族会を続けています。



■ 西岡 秀爾 (2011年度専門コース修了)

公益財団法人中村元東方研究所東方学院
講師／曹洞宗崇禅寺副住職

僧侶は悲嘆を抱える方（特に遺族）と出会う機会が多いが、本当に寄り添えているのか、愧ねたる思いを抱いていました。そこで知識としてではなく、「グリーンケア」とは一体どのようなものなのかを掴みたいと思い、研究所の門をたたきました。良き師（先生方・受講生仲間）に囲まれ、「そのままの自分が受けとめられる」という場に巡り会ったことで、自らが「寄り添われる」ことを通して「寄り添う」ことを学んだと実感しています。研究所での有難き経験を少しでも地域還元し、「ひとりで悲しみを抱えこまなくてよい社会」を目指して精進しつづけます。



■ 平山 恵美子

(2012年度ボランティア養成コース修了)
藍野大学医療保健学部看護学科教授

私は、大学で看護教育に携わると同時に看護師への実践的な看護倫理の教育も提供しています。上智大学グリーンケア研究所で学んだ2年間は、思いや感情を他者に伝えることの難しさを感じながらも“喜び”と“感謝”の気持ちが幾重にも折り重なっていく経験の日々でした。特に、実習を通して、他者を気づかう（care）こと、他者と時を共有することの居心地の良さを実感できたことは大きな喜びでした。また、亡き両親を想う機会を頂き、新たな繋がりを感ずることもできました。今、学生や患者さんの前に立った時、以前とは異なり穏やかな自分を感じます。



■ 隅 陽子 (2012年度専門コース修了)

大阪府済生会吹田病院周産期母子センター 助産師

小さな赤ちゃんの出産に立ち会い「ちゃんと産んであげられなかった」など、お母さんの心の奥からの叫びにどうケアをしていったらいいのかをきちんと勉強したいと思いました。

グループワークや実習を通して、ケアされる体験をして優しい気持ちになりました。自分がケアをされて心地良い体験があったからこそ、相手に寄り添うケアがしたいと、体験を通じて感じる事ができたことが大きな学びでした。

今は、気持ちが沈んでいるお母さんの声を日々大切に聴いています。



上智学院 個人情報保護方針

1. コンプライアンス・プログラム(個人情報の保護に関する方針、組織、計画実施、監査及び見直しを含むシステム)を策定し、これを組織的に着実に実施し、維持し、継続的に改善していきます。
2. 個人情報保護のための組織管理体制を確立するとともに、個人情報の収集、利用及び提供に際しては、所定の規程・規則を遵守し、適切な取扱いを実施します。
3. 個人情報の正確性及び安全性を確保するために、情報セキュリティ対策をはじめとする安全対策を実施し、個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩等の防止に努めます。
4. 個人情報に関する法令及びその他規範を守ります。学内規程、制度をこれらの法令及びその他の規範に適合させていきます。

詳細については、上智大学公式ホームページをご覧ください。

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/index.html>

上智大学グリーンケア研究所



問合せ・出願書類送付先

上智大学グリーンケア研究所

〒531-0072

大阪府大阪市北区豊崎3-12-8

サクラファミリア2階

電話: 06(6450)8651

FAX: 06(6450)8652

Email: i-grief@sophia.ac.jp

上智大学ホームページURL:

<https://www.sophia.ac.jp/>

- 地下鉄御堂筋線 中津駅から徒歩3分
- 阪急 梅田駅 茶屋町口より徒歩4分
- JR大阪駅 御堂筋北口より徒歩10分

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

グリーンケア人材養成講座は下記の助成事業および本講座の主旨にご賛同いただきました賛助会員様のご寄付により開講しております。

助成事業: 公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団様 助成事業
一般社団法人 日本損害保険協会様 自賠償運用益拠出事業

賛助会員様: ANAホールディングス株式会社様 東海旅客鉄道株式会社様
株式会社サンレー様 東日本旅客鉄道株式会社様
大洋薬品大阪販売株式会社様

(2018年4月～2019年7月までの情報)